

3D関西だより

No. 11 2012.7.29

夏の例会を開きました

猛暑の7月29日夏の例会を開きました。参加者は12人でした。会長から会則制定の提案がありました。3D関西の存在感が高まってきているので、対外的にきちんとした組織に見えるように整備することが目的ですが、それと同時に活動委員をたくさん作って活動を分担し、組織的に進めていくことが実質的な内容です。10月の年次総会で正式に決定することになります。

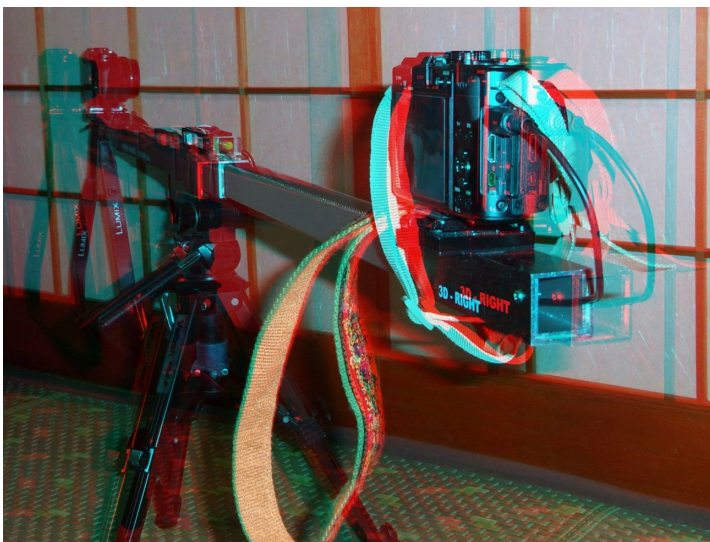
3D映像撮影・制作ワークショップ

3Dコンソーシアム主催の「米国ハリウッドの最新3D映像撮影・制作ワークショップ」に八尾さんが参加され、その内容が報告されました。以下に、講師の1人レイモンド・ハニシアン氏の3D映像撮影・制作に関する提案をあげます。参考になるとと思います。

- 1) 細心のアライメント（垂直方向・ズームマッチングなど）
- 2) 最終的な表示装置を考慮して、視差を設定する。
- 3) コントラストの高い被写体を避ける。
- 4) 広角レンズを使うのがよい。
- 5) 長いゆっくりしたカットが3Dにはよい。
- 6) 被写界深度は深いほうがよい。
- 7) 立体感の強さは、映像の内容によって変えるのがよい。
- 8) ウィンドウの端に飛び出す物体がないようにする。
- 9) 2Dでも奥行きがわかるような被写体を選んで構成する。
- 10) 顔にぶつかるような過激な飛び出しは避ける。

ハイパー3D撮影用ステレオバー

森弘さんが、最大110cmまで伸びるハイパー3D撮影用のステレオバーを製作披露されました。断面がロの字形とコの字形のアルミパイプを組み合わせたもので、なめらかに伸縮できるようにいろんな工夫がされています。中央に2台のカメラを同期させるためのスイッチがついています。スイッチは4個のトランジスタを使ったオリジナル回路で、パナソニック専用です。外部のリリースも接続でき、手ぶれを防ぐことができます。水準器もそなえており、使い勝手のよさそうなステレオバーです。くわしくは、森さんまでお問い合わせ下さい。



ステレオバーに2台のカメラを取り付けたところ



スイッチとリモコン

縦位置用カメラ

大林さんが面白いカメラで3D撮影装置を組み上げました。このカメラは今年3月スカイツリー用に発売されたペンタックスVS20で、横位置用と縦位置用のズームレバーとシャッターボタンがついています。写真のように縦位置に2台並べると、ステレオベースは6cmとなり、ポートレートなどを撮るのにぴったりのステレオカメラになります。同期方法などくわしいことは、大林さんにお問い合わせください。



PENTAX VS20 TwinCamera Obayashi 2012. July

ISU CODE 10

9月30日がISU CODE 10の締め切りです。毎回1人1点で10点応募していますが、今回も同じように10点応募しようと思います。9月中ごろまでに応募作品を選んで、井上さんのサイトに送ってください。

飛び出し Masse! 2012

今年の3D写真展「飛び出し Masse! 2012」は11月13日（火）～11月18日（日）に咲くやこの花館で開きます。展示作品は昨年と同じように、A3アナグリフプリントをはじめ、ムービー・デジタル静止画・ファントグラム・35mmカラーライドなど、いろいろな表示装置を使います。何を出すか、今から考えておいてください。